

自殺予防対策の研修を

Q 自殺予防の対策として、ゲートキーパー養成研修を住民を含めて広く実施したのか。

A これまで主に町職員や教職員に対して実施した。住民向けとしては、民生委員を対象として実施している。

住宅リフォーム助成は

Q 住宅リフォーム助成は平成26年度までの3年間と限定して実施しているが、今後の考えは。

A 年平均35社の町内業者が実施しており、工事費は1億円を超え経済効果は大きい。今後3年間継続する。

新生児の家庭訪問は

Q 民生委員の方に、生後4ヶ月までの乳児がいるすべての家庭を訪問していただいているが、もれはないか。

A 地域の民生委員が訪問し、情報や子育ての悩みなどを聴いている。不在家庭はあったが年度内に全員に会っている。

LED街灯設置補助は

Q LED街灯設置には1灯につき1万円を自治会に補助しているが、件数が伸びていない。補助の見直しは。

A 補助の見直しはしない。各コミセンで実施している自治会長会へ出向き、この補助についての趣旨を理解していただく。

無許可ベンチの撤去を

Q 歩道に無許可で設置されている広告をともなうベンチは、通行障害や老朽化による危険性がある。歩道から撤去を。

A 歩道上のベンチは、貼り紙などとは異なり工作物とみなされるため、一定期間警告した後、対応する。

防災音声サービスは

Q 防災行政無線が聞き取りにくい時がある。電話による音声サービスで内容確認できるが、住民への周知徹底を。

A 広報などで周知を図るとともに、自宅の電話機周辺に貼付する「音声サービス番号ステッカー」を検討する。

*案内先：079-435-0524



▲登校時の見守り隊



▲改修でリフレッシュ



▲備蓄食（アルファ化米、けんちん汁など）



▲名月に浮かぶ防災無線

学校支援ボランティアとは

Q 学校支援ボランティアの参加者が増加している。参加する手続きは。また、報酬とあるが。

A 老人会、自治会の方が登下校の見守りなど自主的に参加。報酬はなく、見守り時の事故に対し、保険料を負担。

住民参加のまちづくりは

Q 住民より意見や提言を聴く町政モニター制度の回答に対して、性別や年齢など偏りは無かったのか。

A 調査ごとに住民より無作為に抽出して行っている。結果については、性別や年齢などの集計も行っている。

福祉給付金受給率アップは

Q 支給率83%は、子育て世帯給付金支給率（96.2%）と比べて低い。受給率アップの対策は。

A 非課税、未確定申告の方全員に申告案内を通知。広報にも掲載し、11月には個人通知を行った。

災害時の食料備蓄は

Q 災害時に備えて、備蓄食料の備蓄目標数をどのような基準で定めたのか。

A 山崎断層地震を想定し、避難者数3251名分の2日分を備蓄している。

新幹線の騒音対策は

Q 新幹線は、速度をアップして騒音が国の環境基準を上回っている。JRに対し、どのような交渉をしているのか。

A 明石・加古川・高砂市と共同して、騒音振動の発生原因低減にむけて取り組むよう要望している。

緊急通報システムの見直しは

Q 独居高齢者の費用安価で日常生活の安全確保に寄与できる制度だが利用者が増えていない。他の見守り手段の検討は。

A 県の事業として、地域住民を24時間見守る「地域サポート型特養事業」の実施を町内の特養ホームに依頼中。